

# 平成 28 年 度

（平成 28 年 4 月 1 日 から）  
（平成 29 年 3 月 31 日 まで）

# 事 業 計 画 書

公益社団法人 香川県青果物協会

住所 高松市一宮町刷塚 1 4 3 1 - 1

電話 (0 8 7) 8 1 8 - 4 1 2 5

## 事業方針

我が国の経済は、円安等により輸出・生産は上向きつつあるものの個人消費にはこのところ弱さがみられ、今後緩やかに持ち直すとみられるものの全体的・全国的な景気浮揚までには至っていない。一方、農業・農村は、農業就業者の減少と高齢化の進展や農地荒廃の加速化、資材価格の上昇等により、農業生産基盤の脆弱化が進んでおり、農畜産物価格の低迷等のため農業所得の低下につながっている。

本県の野菜は、農業従事者の高齢化や後継者不足、販売単価の低下などにより、ブロッコリーやなばな等の増加が見られるものの、引き続きレタスやきゅうりなどの主要野菜が減少している。果樹については、近年増加傾向にあるキウイフルーツを除き、うんしゅうみかんをはじめ主要果樹が減少している。

平成27年度の野菜販売については、前半は長雨や日照不足などの影響により、販売数量が減少したが販売単価が高く、販売金額は増加した。11月以降は、暖冬の影響で販売数量が増加したが販売単価は低迷した。1月中旬以降は寒波のため、高値で推移している品目もあり、年間の販売金額は前年をやや上回る見通しである。一方、果樹の販売については、夏期果樹のもも、なし等において台風等の影響を受け、生産量、販売金額ともに減少した。キウイフルーツ、びわの販売金額は前年より増加、うんしゅうみかんは、天候の影響を受け出荷量が減少し販売金額の減少につながった。その結果、平成27年度のくだもの全体の出荷量や販売金額は前年を下回る見通しである。

こうした情勢の中で本県野菜・果樹産地の体質強化と生産農家の経営安定を図るため、当協会は青果物の生産出荷の安定に関する事業を実施してきたところである。

本年度は、これらの対策をより充実するため野菜価格安定に関する事業や果実生産出荷の安定に関する事業などを積極的に活用して、国や県の施策に基づき、関係機関・団体と密接な連携のもと、青果物の生産出荷の安定に関する事業を実施し、野菜・果樹農家の経営安定と国民生活に必要な青果物の安定供給に努めてまいります。

本会は、公益社団法人香川県青果物協会として4年目の活動を迎えることとなりましたので、なお一層の社会貢献と情報公開に努めてまいります。

### 平成28年度青果物の生産出荷の安定に関する事業の主要事業一覧

区分	事業名	事業概要
野菜価格安定	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業	国が定める指定野菜に準ずる特定野菜に係る準備金の造成と補給金の交付を行う。
	地域野菜価格安定対策事業(協会と香川県の独自事業)	県が定める地域野菜に係る準備金の造成と補給金の交付を行う。
果実生産出荷	緊急需給調整特別対策事業	うんしゅうみかんの価格低落時に、市場隔離経費に対し助成金を交付する。
	果樹経営支援対策事業及び未収益期間支援事業	担い手が行う優良品種等への改植、園地整備事業等に助成金を交付するとともに、改植の翌年度に改植園地の未収益期間に対する支援を行う。
	果実特別資金を活用した特別事業(協会独自事業)	果実事業準備金の運用益を造成した特別資金の一部を取り崩し、本県産地の振興に必要な施設等の整備支援を行う。

# 青果物の生産出荷の安定に関する事業の概要

## I 野菜価格安定に関する事業

### 1 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

指定野菜に準じる野菜で、野菜生産出荷安定法に基づき国が定める特定野菜（特定野菜）、及び指定産地の指定要件に欠けるが将来指定が見込まれる産地の指定野菜（特定指定）を対象として、供給計画に基づき出荷された野菜の価格が著しく低落した場合に生産者へ補給金を交付する。また、このために必要な準備金をあらかじめ造成する。産地の希望数量などは、協会と県と県農協が合同で聞き取り調査を行うとともに、産地の指導に当たる。

「特定指定」産地については、上記の取組みのほか、指定産地の指定を目指して積極的に産地の充実を推進する。

#### 1) 特定野菜等産地（特定野菜）

対象野菜	交付予約数量（t）		申込区分	交付予約対象の内訳	
	28年度数量	前年度からの増減		対象出荷期間	対象市場
いちご	693	△ 164	標準	4～5月、1～2月、3月	近畿、四国
さやいんげん	11	△ 2	標準	5月、6～10月	関東、中国、四国
えだまめ	118	63	標準	6～9月	関東、近畿、中国、四国
セルリー	601	△ 61	標準	4～5、6～7、11～12、1～3月	東北、関東、近畿、中国
にんにく	461	△ 139	標準	5～6月、7～9月、3～4月	関東から四国
ブロッコリー	9,011	349	特例60	4～6月、10～12月、1～3月	東北から四国（東海除く）
そらまめ	32	2	標準	5～7月	関東
スイートコーン	280	△ 10	標準	6～7月	関東、近畿、中国
アスパラガス	664	△ 67	標準	4、5～6、7～9、1～2、3月	東北から四国（北陸除く）
こまつな	71	△ 39	標準	4～6、7～9、10～12、1～3月	近畿、中国、四国
合計 ①	11,942	△ 68	補給準備金 823,675千円、うち国1/3・1/2、県、生産者1/3・1/4		

注1 補給準備金のうち、協会の資金造成額は、448,210千円。

注2 ブロッコリーとスイートコーン、アスパラガスは、国1/2、県1/4、生産者1/4の負担割合。

注3 27年度中に資金造成単価の改訂があった。

#### 2) 特定野菜等産地（指定野菜）

対象野菜	交付予約数量（t）		申込区分	交付予約対象の内訳	
	27年度数量	前年度からの増減		対象出荷期間	対象市場
夏ねぎ(青ねぎ)	399	△ 34	標準	7～9月	東海、近畿、中国、四国
夏秋トマト(ミニ)	250	△ 24	標準	7～9月、10～11月	関東、近畿、中国、四国
冬春トマト(ミニ)	83	△ 7	標準	5～6月、12～2月、3～4月	関東、近畿、中国、四国
冬春なす	45	0	標準	12～2月、3～4月	近畿
春キャベツ	500	△ 660	標準	4～5/15月、5/16～6月	近畿、中国、四国
冬キャベツ	220	△ 30	標準	11～12月、1～3月	四国
冬にんじん	440	△ 10	標準	11月～3月	関東、近畿
冬春きゅうり	173	△ 25	標準	5～6月、3～4月	近畿、中国、四国
合計 ②	2,110	△ 790	補給準備金 144,049千円、うち国1/2、県1/4、生産者1/4		

注1 補給準備金のうち、協会の資金造成額は、72,024千円。

注2 27年度中に資金造成単価の改訂があった。

特定野菜総計 ①+②	14,052	△858	補給準備金967,724千円 (協会の資金造成額は、520,235千円)
---------------	--------	------	---

注1 県及び生産者の造成資金は、特定資産の交付準備金（特定野菜）として計上している。

## 2 地域野菜価格安定対策事業

指定野菜産地、特定野菜産地以外の野菜産地で、県が別に定める野菜を対象として、生産出荷計画に基づき出荷された野菜の価格が著しく低落した場合に生産者へ補給金を交付する。また、このために必要な準備金をあらかじめ造成する。

本事業については、協会と県が香川県独自の事業として実施しているもので、協会も3分の1の財源負担を行っている。

対象野菜	交付予約数量(t)		交付予約対象の内訳	
	28年度数量	前年度からの増減	対象出荷期間	対象市場
きゅうり	84	△ 9	5～6月、3～4月	近畿
青ねぎ	6	△ 1	4～6、7～9、10～12月	近畿、中国、四国
アスパラガス	28	16	4、5～6、7～9、3月	近畿
なばな	779	△ 62	12～2月、3～4月	全国
パセリ	175	△ 65	5～7、10～12、1～2、3～4月	全国
オクラ	182	△ 1	6～9月	関東、近畿、中国、四国
合計	1,254	△ 122	補給準備金 133,961千円、うち協会、県、生産者各1/3	

注1 補給準備金のうち、44,654千円が協会負担分である。

注2 県及び協会、生産者の造成資金は、特定資産の交付準備金（地域野菜）として計上している。

注3 27年度にレタスは、産地再編を行い指定産地に移行した。

注4 27年度にたまねぎは、産地要件を欠き、対象産地を解除した。

注5 27年度中に資金造成単価の改訂があった。

## II 果実生産出荷の安定に関する事業

### 1 果実緊急需給調整特別対策事業

うんしゅうみかんの需給の安定を図るため、生産者団体主導による自主的な計画生産、計画出荷を推進する。

これらの取組みの上で、うんしゅうみかんが一時的に集中出荷され、市場取引価格が著しく低落する恐れがある場合に発動される緊急需給調整特別対策事業に沿って、生食用の果実を加工原料に仕向けた場合、選果経費、輸送経費等の掛かり増し経費に対して助成する。また、このために必要な交付準備金を造成する。

事業実施者	目標数量 (t)	造成額 (千円)	負担区分 (千円)		備考
			県	生産者団体等	
生産出荷団体	450	9,900	4,950	4,950	坂出など3共選場

注1 助成単価は、44円/kgで、その2分の1を県(1/4)と事業実施者(1/4)で資金造成し、残りの2分の1は、実績に応じて中央果実協会から助成金が交付される。

注2 県及び生産者の造成資金は、特定資産の交付準備金(果実対策)として計上している。

### 2 果樹経営支援対策事業及び未収益期間支援事業

各地区の果樹産地構造改革計画に即して、担い手農家が行う優良品目・品種への改植や園内道、灌水施設などの小規模園地整備等に要する経費に対して、補助金を交付する。なお、本事業は平成31年度まで継続される予定である。

また、改植を行った園地について、未収益期間対策として定額補助金(10a当たり22万円)を交付している。

事業実施者	事業内容	事業量	補助金額
担い手農業者、又は農業者の組織する団体等	優良品種等への改植 小規模園地整備等 未収益期間支援	改植等面積 約25ha	82,000千円

### 3 果樹特別事業

果実対策準備金の運用益を将来の果樹対策費用として造成してきた特別資金(果実)を活用した協会の独自事業として、中央果実協会の承認を得て、本事業を実施する。

事業主体	補助率	事業内容	補助金額
農業者の組織する団体等	原則として1/2以内	国、県の補助事業の対象とならない果樹対策	6,880千円

### 4 第18回全国果樹技術・経営コンクールへの参加

第18回全国果樹技術・経営コンクールに参加し、地区営農センター等からの推薦を受けて、県代表を中央果実協会に推薦する。

### Ⅲ 青果物の生産や消費に関する情報収集と提供の事業

生産者と消費者を結ぶ青果物の生産消費情報をインターネットのホームページを通じて提供する。

### Ⅳ 法人管理

#### 1 会議等の開催

##### (1) 総会・理事会等の開催

会議名	開催日	議案	場所又は書面
監査	28年5月中旬	①27年度事業報告 ②27年度決算書類	県農協一宮別館会議室
第一回理事会	28年5月下旬	①27年度事業報告並びに決算書類 ②定時総会の招集の決定	県農協JAビル会議室
定時総会	28年6月下旬	(審議事項) ①27年度決算書類 (報告事項) ①27年度事業報告 ②28年度事業計画及び収支予算等	県農協JAビル会議室
第二回理事会	29年3月下旬	①29年度事業計画 ②29年度収支予算等	県農協JAビル会議室

<参考資料>

平成28年度 指定野菜交付予約数量と資金造成計画

対象野菜	交付予約数量(t)		申込区分	交付予約対象の内訳	
	28年度数量	前年度からの増減		対象出荷期間	対象市場
たまねぎ※	5,014	△ 776	特例50	4、5～6、7～10、11～3月	全国
秋冬だいこん※	1,600	△ 250	標準	10～12、1～3月	近畿、中国、四国
冬にんじん◇	1,620	△ 270	標準	11～12、1～3月	関東、近畿、四国
夏秋きゅうり	1,508	△ 95	標準	7～9、10～11月	近畿、中国、四国
冬レタス◇	15,403	△ 1,573	特例50	10/16～31、11、12～2、3月	東北から四国(東海北陸除く)
冬レタス(非結球)◇	1,185	△ 68	特例50	10/16～31、11、12～2、3月	東北、関東、近畿、中国
春レタス◇	3,194	△ 559	標準	4～5月	東北から四国(東海北陸除く)
春レタス(非結球)◇	261	△ 4	標準	4～5月	東北、関東、近畿、中国
冬春きゅうり	557	△ 74	標準	5～6、3～4月	近畿、中国、四国
夏ねぎ(青ねぎ)	667	△ 40	標準	7～9月	関東、近畿、中国、四国
春だいこん◇	3,000	300	標準	3/16～6月	近畿、中国、四国
夏秋なす	132	△ 38	標準	7～9、10～11月	関東、近畿、中国、四国
秋冬ねぎ(青ねぎ)	1,026	△ 117	標準	10～12、1～3月	関東から四国
春ねぎ	687	△ 82	標準	4～6月	関東から四国
春キャベツ※	699	△ 386	標準	4～5/15、5/16～6月	近畿、中国、四国
冬春トマト(ミニ)	1,048	△ 92	標準	5～6、12～2、3～4月	関東から四国
夏秋ミニトマト	168	△ 14	標準	7～9、10～11月	関東から四国
合計	37,769	△ 4,138	補給準備金	2,280,115千円、うち国6割、県2割、生産者2割	

注1 指定野菜は、国の制度として独立行政法人農畜産業振興機構が直接運営し、登録出荷団体である香川県農協が所定の事務を行っており、当協会は香川県負担分を資金円滑化補助金として受入れ、同額を農畜産業振興機構へ納付する。

注2 対象野菜末尾の※印は重要野菜、◇印は調整野菜、その他は一般野菜に区分されている。

注3 27年度中に資金造成単価の改訂があった。

契約指定野菜契約数量と資金造成計画

対象野菜	交付予約数量(t)		契約単価(円/kg)	交付予約対象の内訳		
	28年度数量	前年度からの増減		購入限度額(円/kg)	対象出荷期間	
冬レタス(非結球)	33.80	0.00	266.25	200%	532.50	11、12～2、3月
春レタス(結球)	0.00	△ 12.40	174.43	200%	348.86	4～5月
冬レタス(結球)	75.00	0.00	190.00	200%	380.00	11、12～2、3月
春レタス(結球)	6.00	2.00	190.00	200%	380.00	4～5月
春ねぎ	17.50	0.00	300.00	200%	600.00	4～6月
夏ねぎ	12.50	0.00	300.00	200%	600.00	7～9月
秋冬ねぎ	22.50	0.00	300.00	200%	600.00	10～12、1～3月
冬レタス(非結球)	32.00	32.00	266.25	200%	532.50	11、12～2、3月
合計	199.30	21.60	補給準備金	34,058千円、うち国6割、県2割、生産者2割		

注1 補給準備金の負担割合は、国1/2、県1/4、生産者1/4

# 収支予算書（損益ベース）

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益事業(公I)			法人会計	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	差 異 (A)-(B)	備 考
	野菜事業	果実事業	計					
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	100	100	100	0	
基本財産受取利息	0	0	0	100	100	100	0	
特定資産運用益	150	0	150	0	150	150	0	
特定資産受取利息	150	0	150	0	150	150	0	普通財産繰入
受取補助金等	93,640	98,637	192,277	600	192,877	167,641	25,236	
指定正味財産からの振替額	88,740	13,537	102,277	0	102,277	76,511	25,766	
特別業務資金収入	1,800	0	1,800	200	2,000	3,000	△1,000	JA香川県から
営農振興奨励金	2,000	1,600	3,600	400	4,000	4,500	△500	JA香川県から
果樹経営支援対策事業補助金	0	82,000	82,000	0	82,000	78,000	4,000	中央果実協会から
果実加工需要対応産地育成事業補助金	0	0	0	0	0	2,730	△2,730	中央果実協会から
果実対策推進交付金・事務費補助金	0	1,500	1,500	0	1,500	1,800	△300	中央果実協会から
野菜推進事業受託費・助成金	1,100	0	1,100	0	1,100	1,100	0	(独)農畜産業振興機構から
雑収益	0	0	0	350	350	350	0	
受取利息	0	0	0	10	10	10	0	
受取配当金	0	0	0	340	340	340	0	信連出資金配当金
経常収益計	93,790	98,637	192,427	1,050	193,477	168,241	25,236	
(2) 経常費用								
事業費								
特定野菜交付金	44,511	0	44,511	0	44,511	44,906	△395	補給交付金
地域野菜交付金	8,761	0	8,761	0	8,761	11,722	△2,961	補給交付金
緊急需給交付金	0	2,360	2,360	0	2,360	1,790	570	みかん緊急需給交付金
特定野菜負担金精算金	29,167	0	29,167	0	29,167	4,761	24,406	精算金
地域野菜負担金精算金	6,301	0	6,301	0	6,301	2,253	4,048	精算金
緊急需給負担金精算金	0	4,360	4,360	0	4,360	2,845	1,515	返還金
果樹特別資金特別事業補助金	0	6,817	6,817	0	6,817	8,234	△1,417	協会特別事業補助金
果実加工需要対応産地育成事業補助金	0	0	0	0	0	2,730	△2,730	品質向上費補助金
果樹経営支援対策事業補助金	0	82,000	82,000	0	82,000	78,000	4,000	改植等・未収益補助金
青果物生産出荷情報提供事業	100	100	200	0	200	200	0	
小 計	88,840	95,637	184,477	0	184,477	157,441	27,036	
役員報酬	1,650	1,320	2,970	330	3,300	3,300	0	専務理事・監事
事務委託料(給料手当)	3,000	2,400	5,400	600	6,000	6,000	0	農協職員
福利厚生費	325	260	585	65	650	650	0	
旅費交通費	400	320	720	80	800	800	0	
通信運搬費	150	120	270	30	300	300	0	
印刷製本費	250	200	450	50	500	500	0	
図書研修費	20	20	40	110	150	150	0	
消耗品・備品費	200	160	360	40	400	400	0	
賃借料	0	320	320	0	320	320	0	
支払賦課金	0	0	0	70	70	70	0	農協中央会賦課金
会議費	125	100	225	25	250	250	0	
雑費	50	40	90	10	100	100	0	
経常費用計	95,010	100,897	195,907	1,410	197,317	170,281	27,036	
公益目的事業比率	48.2%	51.1%	99.3%	0.7%	100.0%			
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,220	△2,260	△3,480	△360	△3,840	△2,040	△1,800	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△1,220	△2,260	△3,480	△360	△3,840	△2,040	△1,800	
2. 経常外増減の部								
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△1,220	△2,260	△3,480	△360	△3,840	△2,040	△1,800	
一般正味財産期首残高			306	67,013	67,319	68,676	△1,357	決算見込値で想定
一般正味財産期末残高			△3,174	66,653	63,479	66,636	△3,157	
II 指定正味財産増減の部								
特定資産運用益	300	5	305	0	305	305	0	
特定資産受取利息	300	5	305	0	305	305	0	元金繰入等
受取補助金等	35,751	1,200	36,951	0	36,951	34,109	2,842	
特定野菜交付金補助金	32,831	0	32,831	0	32,831	30,862	1,969	機構及び香川県から
地域野菜交付金補助金	2,920	0	2,920	0	2,920	2,352	568	香川県から
緊急需給交付金補助金	0	1,200	1,200	0	1,200	895	305	中央果実協会から
受取負担金	29,829	20	29,849	0	29,849	26,093	3,756	
特定野菜負担金	24,627	0	24,627	0	24,627	21,553	3,074	生産者等負担金
地域野菜負担金	5,202	0	5,202	0	5,202	4,540	662	生産者等負担金
緊急需給負担金	0	20	20	0	20	0	20	生産者負担金
一般正味財産への振替額	△88,740	△13,537	△102,277	0	△102,277	△76,511	△25,766	
当期指定正味財産増減額	△22,860	△12,312	△35,172	0	△35,172	△16,004	△19,168	
指定正味財産期首残高			1,108,449	77,649	1,186,098	1,204,351	△18,253	決算見込値で想定
指定正味財産期末残高			1,073,277	77,649	1,150,926	1,188,347	△37,421	
III 正味財産期末残高			1,070,103	144,302	1,214,405	1,254,983	△40,578	



# 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

- |                  |                                   |
|------------------|-----------------------------------|
| (1) 資金調達の見込みについて | 当期中に資金調達の予定はありません。                |
| (2) 設備投資の見込みについて | 当期中に重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。 |